

2023年7月14日

「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2023年4～6月期速報）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 下山田 和司）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2023年4～6月期速報）」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断DIは、「悪化」超3.3%と前期から4ポイント上昇しました。業種別にみると、製造業は前期から概ね横ばい（1.6ポイント上昇）、非製造業は前期比6ポイント上昇しています。

今期は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の感染症法上の位置付けが「5類」に移行し経済活動が正常化しつつあることなどを受け、国内全体の景気が回復したとみる企業が多かったことや、物価の上昇ペースが緩やかになるもとで収益環境が改善したことなどから、景況感の改善が進んだとみられます。もっとも、対面型サービス関連の業種からは「想定通りに需要が回復しなかった」との声も多く、消費マインドには引き続き注視が必要です。なお、調査結果の詳細は、別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、1970年以降50年以上にわたり、四半期ごとの定期調査として実施しているものです。従業員数300人以上の大企業から30人未満の企業まで、茨城県内企業を幅広く調査対象としています。今回の調査期間は2023年6月1日～26日、有効回答数は217社（製造業95社、非製造業122社）でした。

以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします
常陽産業研究所 地域研究部 地域研究センター：
茂木・荒澤 029-233-6734

概況 自社業況総合判断 DI は全産業で 3 期連続改善 —経済活動の正常化、物価上昇ペースの鈍化などが好影響—

今回調査の概要

県内企業の景況感を表す自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「悪化」超 3.3%と前期（2023 年 1～3 月期）調査の同 7.1%から 3.8 ポイント（以下、pt）上昇した（図表 1）。景況感の改善は、2022 年 10～12 月期以降、3 期連続となる。

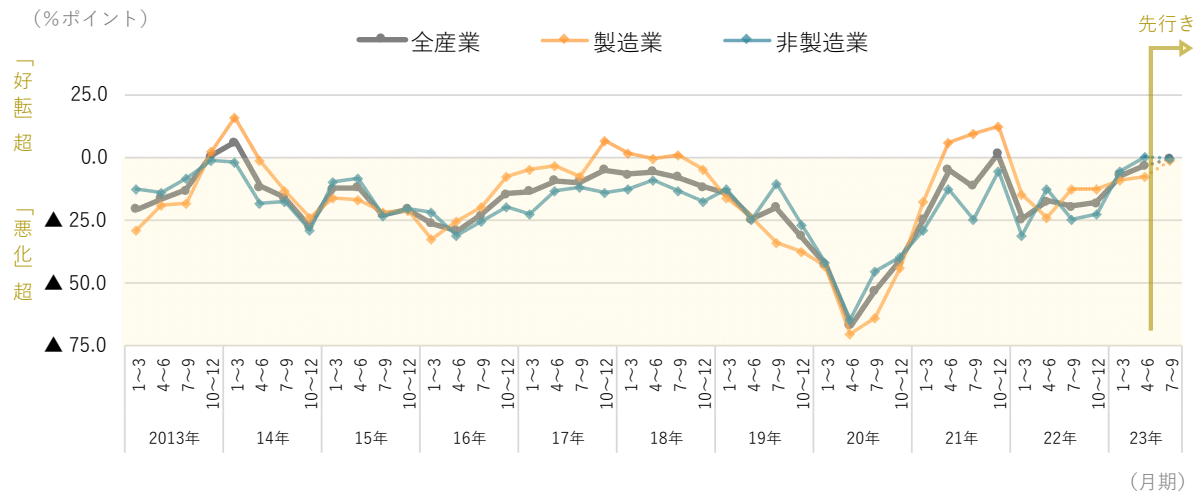
業種別にみると、製造業は「悪化」超 7.4%と、前期から概ね横ばいだった（1.6pt 上昇）。内訳をみると、その他業種が低下した一方、素材業種、加工業種が上昇している（図表 2）。非製造業は 0.0%と、前期から 5.7pt 上昇した。非製造業の同 DI が「悪化」超を脱するのは、東日本大震災の反動などがみられた 2012 年 4～6 月期（「好転」超 1.2%）以来、11 年振りとなる。内訳をみると、16.7pt 低下した卸売業を除き、全ての業種で DI が改善した（図表 2）。なお、企業規模別では、30 人未満・100～299 人は低下、30～99 人・300 人以上は上昇した（図表 3）。

業績面の指標を業種別にみると、製造業では、生産判断 DI が「悪化」超 12.6%と前期から概ね横ばい（1.4pt 低下）、受注判断 DI が同 7.5%と概ね横ばい（2.7pt 上昇）だった（図表 4）。企業からは、「部材の調達難が解消しつつあり、受注も好調」（電気機械）、「受注が引き続き安定している」（ペット用品）などの声がある反面、「再び半導体不足となるリスクがある」（輸送用機械）、「半導体製造装置業界の生産調整により、売上が大きく減少した」（電子部品・デバイス）など、供給制約の悪影響に関する声も引き続き多く上がっている。一方、仕入価格判断 DI が「上昇」超 63.8%と前期比 13.5pt 低下し、経常利益判断 DI が「減少」超 19.3%と同 9.3pt 上昇するなど、物価の上昇ペースが緩やかになるもとで、収益環境は前期よりも改善している様子がうかがえる。

非製造業では、新型コロナの感染症法上の位置付けが「5 類」に移行し経済活動が正常化しつつあること等を受け、国内景気判断 DI が同 26.2pt 上昇し、「好転」超 19.0%となった（図表 4）。国内景気判断 DI が「好転」超となるのは、2018 年 7～9 月期以来、19 期振りである。もともと、「旅行・宴会需要の回復を見込んでいたが、予想とは逆に来店客数が落ち込んでいる」（小売業）、「中高年層の客足の戻りが鈍い」（小売業）、「全国旅行支援が実施されていたものの、6 月は需要が低かった。円安だがインバウンド需要も限定的」（飲食・宿泊業）など、対面型サービス関連の業種を中心に、想定通りに需要が回復しなかったとの声も少なくない。売上判断 DI は 0.0%と同 7.7pt 低下しており（図表 4）、消費マインドには引き続き注視が必要である。なお、製造業と同様に、仕入価格判断 DI が上げ止まるなど、収益環境は改善に向かっている。

次期（2023 年 7～9 月期）の自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 0.9%と今期から概ね横ばい（2.4pt 上昇）となり、業種別では、製造業が同 1.1%と 6.3pt 上昇、非製造業が同 0.8%と横ばい（0.8pt 低下）の見通しとなっている（図表 1）。7～9 月期は、物価の上昇ペースが緩やかになると期待される一方で、「いば旅あんしん割」の終了（6 月 30 日宿泊分で終了）、新型コロナの「第 9 波」など、対面型サービス関連の業種やその取引業種などに逆風が吹くと予想される。先行きは、新型コロナの感染状況、海外経済・為替市場等の動向、これらを反映した物価やサプライチェーンの動向、経営環境の変化に対する県内企業の対応状況などを注視する必要がある。

図表1 自社業況総合判断 DI の推移



(前年同期比・%ポイント)

業種	2022年				2023年			
	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	前回調査 時点の予測	7~9月期 予測
全産業	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 18.1	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 0.9
製造業	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 12.4	▲ 12.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 10.0	▲ 1.1
非製造業	▲ 31.2	▲ 12.8	▲ 25.0	▲ 22.4	▲ 5.7	0.0	▲ 5.7	▲ 0.8

※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

図表2 自社業況総合判断 DI の推移（業種別）

(前年同期比・%ポイント)

	2022年				2023年		
	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期 予測
全産業	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 18.1	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 0.9
製造業	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 12.4	▲ 12.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 1.1
素材業種	▲ 18.2	7.2	▲ 33.3	▲ 55.6	▲ 12.5	0.0	▲ 20.0
加工業種	0.0	▲ 31.3	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 10.9	▲ 6.4	8.5
その他業種	▲ 34.5	▲ 26.5	▲ 13.9	▲ 8.1	▲ 6.5	▲ 10.5	▲ 8.1
非製造業	▲ 31.2	▲ 12.8	▲ 25.0	▲ 22.4	▲ 5.7	0.0	▲ 0.8
建設	▲ 31.0	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 28.6	▲ 17.3	▲ 3.5	▲ 14.3
卸売	▲ 39.2	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 11.1	▲ 27.8	▲ 35.3
小売	▲ 59.1	▲ 27.3	▲ 16.6	▲ 41.2	▲ 4.0	0.0	8.7
運輸・倉庫	▲ 50.0	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	10.0	0.0
その他業種	▲ 7.3	2.0	▲ 17.0	▲ 7.0	2.4	12.5	17.1

※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

図表3 自社業況総合判断DIの推移（企業規模別）

（前年同期比・%ポイント）

従業員数	2022年				2023年		
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 予測
全産業	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 18.1	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 0.9
30人未満	▲ 37.3	▲ 28.2	▲ 45.5	▲ 23.5	▲ 10.5	▲ 14.5	▲ 14.5
30～99人	▲ 26.0	▲ 13.7	▲ 15.2	▲ 17.9	▲ 16.0	▲ 1.2	▲ 2.5
100～299人	▲ 5.0	▲ 19.5	▲ 2.7	▲ 14.7	▲ 2.4	▲ 2.5	5.0
300人以上	▲ 8.7	0.0	7.7	▲ 10.0	17.2	19.3	32.0

※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

図表4 自社業況総合判断以外の主なDIの推移

（前年同期比、前期比・%ポイント）

項目	業種	2022年				2023年		
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 予測
国内景気判断DI （「好転」－「悪化」）	全産業	▲ 29.4	▲ 15.7	▲ 27.1	▲ 23.0	▲ 9.7	10.7	14.6
	製造業	▲ 24.1	▲ 19.8	▲ 18.0	▲ 16.9	▲ 13.1	0.0	8.5
	非製造業	▲ 33.1	▲ 12.8	▲ 34.1	▲ 27.9	▲ 7.2	19.0	19.4
生産DI （「増加」－「減少」）	製造業	▲ 16.9	▲ 16.8	7.9	11.7	▲ 11.2	▲ 12.6	3.2
受注DI （「増加」－「減少」）	製造業	▲ 7.2	▲ 10.6	2.3	10.7	▲ 10.2	▲ 7.5	9.6
売上（出荷）DI （「増加」－「減少」）	全産業	▲ 17.2	▲ 9.3	▲ 5.5	4.8	0.9	0.4	4.8
	製造業	▲ 13.3	▲ 14.7	8.0	12.7	▲ 7.3	1.1	10.7
	非製造業	▲ 20.0	▲ 5.4	▲ 16.2	▲ 1.7	7.7	0.0	0.0
仕入価格DI （「上昇」－「低下」）	全産業	58.9	69.2	72.3	71.7	73.6	60.9	54.8
	製造業	75.9	79.2	80.9	79.0	77.3	63.8	55.9
	非製造業	47.0	61.9	65.6	65.8	70.8	58.5	53.9
販売価格DI （「上昇」－「低下」）	全産業	19.3	29.8	35.8	44.3	40.8	40.0	28.5
	製造業	19.8	33.4	33.7	55.7	44.9	39.8	21.8
	非製造業	19.0	27.2	37.7	35.1	37.5	40.2	34.0
経常利益DI （「増加」－「減少」）	全産業	▲ 22.7	▲ 24.0	▲ 21.7	▲ 20.7	▲ 19.0	▲ 13.5	▲ 9.0
	製造業	▲ 19.5	▲ 36.5	▲ 24.8	▲ 16.8	▲ 28.6	▲ 19.3	▲ 13.1
	非製造業	▲ 24.8	▲ 15.4	▲ 18.8	▲ 23.7	▲ 11.4	▲ 9.0	▲ 6.0

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2023年7月14日
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2019				2020				2021				2022				2023				概況
		10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	(前期比)	前期予測	7~9 予想			
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲27.5	▲61.1	▲90.4	▲80.2	▲75.1	▲53.3	▲18.4	▲20.2	5.0	▲29.4	▲15.7	▲27.1	▲23.0	▲9.7	10.7	(20.4)	▲7.6	14.6	製造業は前期比13ポイント上昇し、非製造業は同26ポイント上昇した。先行きは、製造業で9ポイント上昇、非製造業で横ばい(+)となる見通し。	
	製造業	▲29.9	▲58.1	▲90.6	▲84.5	▲75.7	▲40.8	▲3.1	▲4.3	17.2	▲24.1	▲19.8	▲18.0	▲16.9	▲13.1	0.0	(13.1)	▲15.2	8.5			
	非製造業	▲25.5	▲64.0	▲90.3	▲76.7	▲74.6	▲62.6	▲29.1	▲30.4	▲2.2	▲33.1	▲12.8	▲34.1	▲27.9	▲7.2	19.0	(26.2)	▲1.6	19.4			
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲33.5	▲44.8	▲73.7	▲59.7	▲49.3	▲31.4	▲9.1	▲16.0	▲4.2	▲25.5	▲17.5	▲21.1	▲22.7	▲10.6	▲6.9	(3.7)	▲9.7	▲2.8	製造業は前期から概ね横ばい(+)、非製造業は前期比5ポイント上昇した。先行きは、製造業で10ポイント上昇、非製造業で横ばい(-)となる見通し。	
	製造業	▲36.4	▲47.6	▲76.9	▲65.0	▲51.4	▲25.0	4.0	2.2	10.0	▲18.0	▲25.0	▲21.3	▲22.3	▲15.0	▲12.7	(2.3)	▲13.0	▲3.2			
	非製造業	▲31.1	▲42.4	▲71.2	▲55.3	▲47.7	▲36.4	▲18.3	▲27.6	▲12.6	▲30.4	▲12.2	▲21.0	▲22.9	▲7.1	▲2.4	(4.7)	▲7.2	▲2.5			
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲31.4	▲42.6	▲67.1	▲54.7	▲41.8	▲24.5	▲5.0	▲11.3	1.4	▲24.6	▲17.4	▲19.5	▲18.1	▲7.1	▲3.3	(3.8)	▲7.6	▲0.9	製造業は前期から概ね横ばい(+)、非製造業は前期比6ポイント上昇した。先行きは、製造業で6ポイント上昇、非製造業で横ばい(-)となる見通し。	
	製造業	▲37.4	▲43.2	▲70.1	▲64.8	▲43.9	▲18.0	6.1	9.6	12.5	▲14.6	▲24.0	▲12.4	▲12.8	▲9.0	▲7.4	(1.6)	▲10.0	▲1.1			
	非製造業	▲26.7	▲42.0	▲64.7	▲46.3	▲40.0	▲29.4	▲12.7	▲24.6	▲5.2	▲31.2	▲12.8	▲25.0	▲22.4	▲5.7	0.0	(5.7)	▲5.7	▲0.8			
売上(出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲25.0	▲35.0	▲62.4	▲47.6	▲35.1	▲19.3	2.1	▲8.2	6.3	▲17.2	▲9.3	▲5.5	4.8	0.9	0.4	(▲0.5)	▲3.8	4.8	製造業は前期比8ポイント上昇し、非製造業は同8ポイント低下した。先行きは、製造業で10ポイント上昇、非製造業で横ばい(=)となる見通し。	
	製造業	▲22.4	▲34.1	▲64.1	▲56.1	▲38.3	▲20.6	11.1	12.9	14.8	▲13.3	▲14.7	8.0	12.7	▲7.3	1.1	(8.4)	▲9.3	10.7			
	非製造業	▲27.2	▲35.8	▲60.9	▲40.4	▲32.2	▲18.3	▲4.4	▲22.0	0.8	▲20.0	▲5.4	▲16.2	▲1.7	7.7	0.0	(▲7.7)	0.9	0.0			
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲20.6	▲33.6	▲62.1	▲55.7	▲41.1	▲20.2	10.0	14.2	11.0	▲16.9	▲16.8	7.9	11.7	▲11.2	▲12.6	(▲1.4)	▲8.1	3.2	前期から概ね横ばい(-)となった。先行きは16ポイント上昇する見通し。	
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲23.4	▲36.6	▲64.7	▲58.5	▲39.7	▲19.2	10.0	10.7	9.7	▲7.2	▲10.6	2.3	10.7	▲10.2	▲7.5	(2.7)	▲8.1	9.6	前期から概ね横ばい(+)となった。先行きは17ポイント上昇する見通し。	
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲23.5	▲29.3	▲54.4	▲54.6	▲32.7	▲13.2	13.3	10.9	6.1	▲13.2	▲7.3	3.4	7.4	▲6.0	▲7.4	(▲1.4)	▲10.1	0.0	前期から概ね横ばい(-)となった。先行きは7ポイント上昇する見通し。	
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	14.5	10.9	24.3	30.5	15.8	10.2	18.0	8.8	3.7	10.0	17.0	20.0	10.8	11.4	20.5	(9.1)	3.1	6.6	前期比9ポイント上昇した。先行きは14ポイント低下する見通し。	
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	0.9	▲5.5	▲15.5	▲9.2	▲3.5	▲0.5	7.4	8.7	17.0	19.3	29.8	35.8	44.3	40.8	40.0	(▲0.8)	35.0	28.5	製造業は前期比5ポイント低下し、非製造業は前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で18ポイント低下、非製造業で6ポイント低下する見通し。	
	製造業	▲4.7	▲7.3	▲17.4	▲12.2	▲1.9	1.0	5.0	11.7	17.3	19.8	33.4	33.7	55.7	44.9	39.8	(▲5.1)	31.6	21.8			
	非製造業	5.5	▲3.9	▲14.1	▲6.5	▲5.1	▲1.7	9.0	6.6	16.8	19.0	27.2	37.7	35.1	37.5	40.2	(2.7)	37.8	34.0			
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	21.6	9.1	▲5.4	5.3	10.8	19.5	34.3	40.0	54.0	58.9	69.2	72.3	71.7	73.6	60.9	(▲12.7)	64.8	54.8	製造業は前期比14ポイント低下し、非製造業は同12ポイント低下した。先行きは、製造業で8ポイント低下、非製造業で5ポイント低下する見通し。	
	製造業	11.3	4.9	▲9.5	1.7	13.1	27.0	42.4	55.3	71.6	75.9	79.2	80.9	79.0	77.3	63.8	(▲13.5)	68.0	55.9			
	非製造業	30.2	13.1	▲2.1	8.5	9.0	13.6	28.4	29.4	43.1	47.0	61.9	65.6	65.8	70.8	58.5	(▲12.3)	62.3	53.9			
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲33.3	▲39.9	▲58.9	▲48.0	▲32.4	▲18.5	▲8.0	▲11.1	▲5.1	▲22.7	▲24.0	▲21.7	▲20.7	▲19.0	▲13.5	(5.5)	▲16.4	▲9.0	製造業は前期比9ポイント上昇し、非製造業は前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で6ポイント上昇、非製造業で3ポイント上昇する見通し。	
	製造業	▲34.3	▲44.7	▲62.6	▲55.3	▲38.1	▲19.2	0.0	2.2	▲1.2	▲19.5	▲36.5	▲24.8	▲16.8	▲28.6	▲19.3	(9.3)	▲20.4	▲13.1			
	非製造業	▲32.6	▲35.5	▲56.0	▲41.9	▲27.6	▲18.0	▲13.5	▲19.7	▲7.4	▲24.8	▲15.4	▲18.8	▲23.7	▲11.4	▲9.0	(2.4)	▲13.2	▲6.0			
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲3.4	▲4.3	▲3.0	▲13.5	▲6.0	▲5.7	1.6	▲7.1	▲0.5	▲0.5	3.0	0.4	▲4.6	▲1.3	2.3	(3.6)	8.1	1.9	製造業は前期比5ポイント上昇し、非製造業は前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(-)、非製造業で横ばい(=)となる見通し。	
	製造業	3.8	▲4.8	1.7	▲16.1	▲7.6	▲3.0	2.0	▲5.3	2.5	▲7.2	3.1	1.1	3.2	▲4.1	1.1	(5.2)	8.2	0.0			
	非製造業	▲9.0	▲3.7	▲6.7	▲11.1	▲4.8	▲7.7	1.4	▲8.3	▲2.2	4.1	3.0	0.0	▲10.8	0.8	3.4	(2.6)	8.2	3.4			
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲7.6	▲9.7	▲21.7	▲15.5	▲9.8	▲4.5	▲6.1	▲3.7	▲0.4	▲4.8	▲3.0	▲7.1	▲6.9	▲7.7	▲4.2	(3.5)	▲9.2	▲3.8	製造業は前期比5ポイント上昇し、非製造業は前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で3ポイント上昇、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。	
	製造業	▲4.9	▲8.1	▲27.0	▲19.8	▲11.4	▲4.1	▲6.0	▲5.3	▲4.9	▲7.2	▲11.7	▲11.2	▲12.6	▲11.3	▲6.5	(4.8)	▲10.4	▲3.3			
	非製造業	▲9.9	▲11.2	▲17.9	▲12.1	▲8.4	▲4.7	▲6.3	▲2.8	2.3	▲3.2	2.9	▲4.2	▲2.5	▲4.8	▲2.5	(2.3)	▲8.3	▲4.1			
設備投資	設備投資 実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	60.2	52.8	54.4	53.3	57.6	59.5	55.3	53.0	(▲2.3)									(53.9)	当初計画(6か月前計画)と比べると、製造業は13ポイント低下し、非製造業は横ばい(+)だった。前期実績(22年7~12月期)と比べると、製造業は8ポイント低下し、非製造業は概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(+)、非製造業で横ばい(=)となる見通し。	
	製造業・実績 (6か月前計画)	63.0	61.5	57.9	62.0	63.4	62.5	60.0	51.6	(▲8.4)									(53.7)			
	非製造業・実績 (6か月前計画)	58.0	46.1	51.5	47.2	54.1	57.4	51.6	54.1	(2.5)									(54.1)			

<調査期日> 2023年6月時点(回答受付:6月1日~26日)
<調査対象> 473社
<有効回答> 217社(製造業95社、非製造業122社)

※DIは前年同期比、ただし販売価格・仕入価格・資金繰りは前期比 ※設備投資の実績は2023年1~6月期、先行きは2023年7~12月期 ※赤字は前期比マイナス
※概況では、今期の前期比・次期の今期比等について、ポイント差が1.0未満のものを「横ばい」、1.0以上3.0未満のものを「概ね横ばい」と記載している
(参考として、ポイント差がプラスの場合は(+)、マイナスの場合は(-)、0.0の場合は(=)を、「横ばい」・「概ね横ばい」の右側に記載)